

各 位

会 社 名 株 式 会 社 き も と
(略称 K I M O T O)
(U R L <https://www.kimoto.co.jp/>)
代表者名 代表取締役社長 小林 正一
(コード番号 7908 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部長 新上 奈美江
(T E L 050-3154-9000)

連結業績予想と実績値との差異及び個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2024 年 10 月 29 日に公表した連結業績予想と実績値に差異が生じたのでお知らせします。また、個別業績と前期実績値に差異が生じたので合わせてお知らせします。

記

1. 業績予想との差異について

2025 年 3 月期通期連結業績予想との差異 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,900	1,000	980	720	15.60
実 績 (B)	11,294	1,340	1,378	989	21.53
増減額 (B - A)	394	340	398	269	
増 減 率 (%)	3.6	34.0	40.6	37.5	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 3 月期)	9,910	214	408	335	7.26

2. 前期実績値との差異について

2025 年 3 月期通期個別業績の差異 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	9,225	624	539	11.70
実 績 (B)	10,491	1,498	752	16.37
増減額 (B - A)	1,266	873	212	
増 減 率 (%)	13.7	139.9	39.4	

3. 差異の理由

2025年3月期は、インフレや高金利の影響が続く中、地域ごとに経済動向に差が見られました。米国では景気が安定し、企業活動も回復基調となりましたが、欧州では国際情勢の緊張により先行き不透明な状況が続きました。さらに、米中間の貿易摩擦や為替・原材料価格の変動により、当社グループの事業環境も引き続き不透明な状況にありました。このような環境下において、輸送機器向け電子部品や通信機器の部材・工程材料として使用されるIoT関連製品（遮光、粘着、拡散、サンドブラスト）が堅調に推移したほか、高付加価値製品の販売強化、品質向上への継続的な取り組み、生産業務効率化および低収益品の統合による製造原価の低減により、連結、個別ともに利益が大幅に向上いたしました。売上面では、輸送機器向けの拡散フィルム、通信機器向けの遮光フィルム、両市場向けの粘着フィルムが堅調に推移したことに加え、バッテリー工程用および半導体製造工程用製品も売上に貢献したことにより、前回発表予想との差異が生じました。

以上